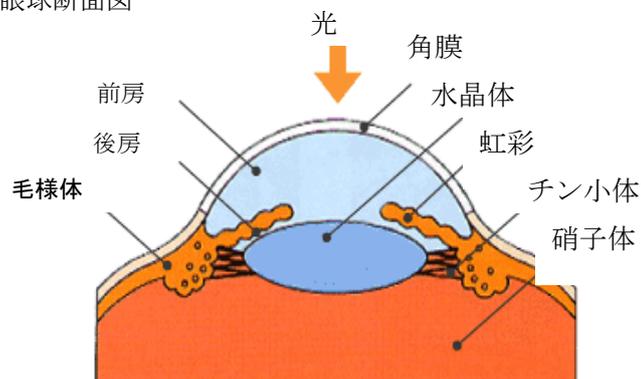


白内障手術の説明書

1. 手術について

白内障手術は水晶体の後ろの膜(後囊)だけを
残して濁った部分を取り出し、そこに眼内レンズ
をおいてくる方法をとります。術式の正式名称は
“超音波水晶体乳化吸引術+眼内レンズ挿入
術”(水晶体再建術)です。万全の検査・準備を
した上で手術方法を決定しますが、手術中に水
晶体を支える糸状の組織(チン小体)が弱い、水
晶体が硬いなどの個人差が始めて明らかになり、
超音波による水晶体の吸引ができない場合があ
ります。この場合には傷口を広げ、旧式の手術
方法に切り替え手術を行うこととなります。
(水晶体囊外摘出術+眼内レンズ挿入術)

●眼球断面図



2. 治療効果と手術中の合併症

白内障の患者さんは曇りガラスを通して物を見ているような状態です。手術により透明な人工眼内レンズを通して物を見るようになりますので、白内障になる前の視力をほぼ取り戻すことができますが、めがねが必要になります。

手術は局所麻酔下で行われますが、顕微鏡を用いて行う細かい操作が続きますので患者さんの多少の協力が必要です。手術中はできるだけリラックスしていただき、医師の指示に従ってください。手術時間は30~40分程度ですが合併症を認めた場合には長くかかることもあります。水晶体の硬さ、チン小体の弱さ、眼球の大きさ、散瞳薬への反応、眼の圧力等には個人差があり、それぞれの眼に対応した十分な注意を払っていてもまれに合併症を認める場合があります。

その内容としては

- 創口不全 ; 傷口がしっかり閉じないこと。術後眼圧の低値が続いたり、感染症が発生しやすくなります。縫合を追加し、創口不全が無いことを確認して手術を終了します。
- 後囊破損 ; 眼内レンズを支える水晶体の後ろの膜(カプセル)が破損しますので、眼内レンズを挿入することができなくなります。眼内に人工のレンズが入っていませんので焦点が合わず、そのままの状態でははっきりと物を見ることができません。後日、眼内にレンズを縫い付けてくる手術(人工レンズ眼内縫着術)を計画します。手術を希望されない方は1ヶ月ごとに交換する連続装用コンタクトレンズを使用して物を見てもらうこととなります。
- 水晶体核落下 ; 後囊破損が生じた時に残っている水晶体が眼球深部(硝子体)へ落ちてしまうことがあります。この場合は、落ちた水晶体と硝子体とを一緒

に吸引、切除、摘出する必要があります(硝子体切除術)。入院施設がある病院へご紹介し手術をお願いすることになります。

3. 手術後に起こる合併症

- 術後感染症 ; 眼球表面には様々な細菌が存在しています。それらの細菌が眼球内に入り込み増殖すると眼内に膿がたまり、眼球全体へ炎症が広がってしまい(細菌性眼内炎)視力障害が残ることになります。発生の防止のために抗生物質の点滴・内服をします。また、点眼薬は3ヶ月程度継続して使用します。また、術後感染症の早期発見のためには、下記の症状が出た時は速やかに受診し診察を受けてください、
 - 眼が痛い、涙がでる
 - 眼が赤い(充血)
 - 視力が低下した
 - 熱い涙がでる
- 後発白内障 ; 眼内レンズを移植するために残しておいた膜(水晶体の後囊)が濁って再び視力が低下する事があります。治療はごく簡単で、レーザーを使い短時間で視力が戻ります。ただ、手術後の眼のかすみが全て後発白内障によるものとは限りませんので、異常を感じたら必ず眼科を受診して下さい。
- 水疱性角膜症 ; もともとの角膜内皮細胞が弱い場合、手術後内皮細胞に大きな障害が生じ、角膜が腫れ、角膜表面に水疱ができます。この水疱は破裂することがあり、痛みを伴い視力も低下します。治療は、角膜内部の水分を角膜から外に誘導するための点眼薬を使用します。不快感や痛みを軽減するためにソフトコンタクトレンズを装用することもあります。日常生活に支障が出るほどの視力障害が生じた場合や、痛みや不快感が強い場合は、角膜移植が必要になります。

4. その他

手術後は眼の状態が安定し感染症などの心配がなくなるまで、一緒にお渡しした説明書の注意点を守ってください。

特に 洗顔・洗髪は7日間禁止です。

眼をこすったり、押したりしない。

転んだりして眼をぶつけないように注意する。

激しい運動は許可されるまでしない。

渡された点眼薬は必ず指示通りに使用する。

指示されたとおりに通院する。

白内障について、原因、治療の方法、手術内容、手術に際し起こりうる合併症とそれに対処する方法についてスライドを用いて説明いたしましたが、この他に不安もしくは不明な点については、いかなる事柄でもお尋ねください。手術内容、合併症を理解していただき、同意していただける場合には別に用意されている承諾書に署名・捺印してください。